

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
S20	1945	福岡市に大空襲(以後門司、大牟田、八幡、若松、久留米など続く)06.19 ※	太平洋戦争は終わった。残されたものは、飢餓、混乱、虚脱状態であったが、それらのなかから新しい建設のいぶきも芽生えていた。08.15 ※	占領軍福岡に進駐09.22	県警察部機構改革、特高課など廃止10.07	総司令部、民主化5改革(女性解放、労働組合、学校教育自由、民権制限撤廃、経済民主化)を指令10.11							鈴木貫太郎 東久邇宮稔彦王 幣原喜重郎	「県政20年のあゆみ 地方自治法施行20周年記念号」(「ふくおか特集号」1967.12) ※
S21	1946	第1次農地改革実施02.01	食糧・金融両緊急措置令施行02.17	戦後初の総選挙、婦人代議士誕生04.10	九州全炭鉱”救国増産運動”に入る08.01	福岡・小倉両署に婦人警官採用09.10	延安から野坂参三、博多港上陸帰国01.12						吉田茂	
S22	1947	新憲法、地方自治法同時施行05.03 都道府県、市町村発足。 ※	初の地方選挙04.05 初の民選知事杉本勝次氏。 ※	6・3・3制の新学制が始まる。04.01 ※	GHQ、2・1ゼネスト中止指令01.31	福岡市で「米よこせ大会」03.20						杉本勝次	片山哲	
S23	1948	出炭不振のヤマ元、4月石炭鉱業管理法(炭鉱管理法)が施行されたが、戦争で荒れ果てた福岡県の炭鉱は出炭不振に悩んだ。GHQは調査団を派遣してハツパをかけ	第3回国体福岡で開く(夏季大会;大谷プール、秋季大会;福岡市平和台) ※	県下新制高等学校発足04.01	教育委員会法公布07.15	東洋陶器争議始まる08.00							芦田均	

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)  
 西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
S24	1949	天皇、九州を ご旅行 05.19 ※	県立九州歯 科大学、西 南学院大額 発足(新制) 04.01	新制九州大 学、福岡学 芸大学が発 足(のち福 岡教育大 学)05.31									吉田茂	
S25	1950	特需ブームに わく。06.25、朝 鮮半島で動乱 がぼっ発した。 朝鮮に近かつ た福岡県の経	地方公務員 法公布 12.13	九州初の日 展、福岡市 で開催 02.11	県立福岡女 子大学開校 04.24									
S26	1951	有明海に人工 島ができる ※	民放スタート 聴取料なし で聞かせる 民間ラジオ 放送の第1 号としてラジ オ九州が12 月に本格放 送を開始し	電力再編成 で九州電力 が発足 05.01	日航一番機 福岡—東京 間を飛ぶ 12.25	サンフラン シスコ平和 条約調印 09.08	「ふくおか 県政時報」 創刊 12.01							

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)  
 西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
S27	1952	李ラインひかれる 時の李承晩韓国大統領が李ラインを強引にひいたため、東シナ海に出漁する西日本の漁民とその家族は、昭和40年の日韓条約成立まで不安な毎日を送った。※	レクリーションの宮様、三笠宮殿下来福、県下のモデル町村馬田村はじめ親しく御視察、またレクリーション大会にも御出席された	十二代にわたる県知事の手を經た花宗用水池として穀庫筑後平野に永くその威力を発揮するであろう	杉本県政の女房役としてその政治的手腕を高く買われていた土屋副知事は任期満了、野に下ったが、再び副知事に就任	恐るべき赤痢魔、時期外れの大流行、宇美町をはじめ県下に猛威を振るい、防疫陣を緊張させる	公明選挙のかけ声で、独立後初の総選挙行われる。県ニュースカー”県政号”は県下を公明選挙啓蒙に大活躍した。	学芸大転用で一大波乱を起こした筑紫ヶ丘高校も、新築落成、モデルスクールに指定、同問題もここに終止符をうった。						「フラッシュ 1952年 県政のあしあと」(「ふくおか s28.01.06」)
S28	1953	西日本に豪雨襲う・・・60数年来といわれる・・・06.25 ※	三井三池、113日間の長期スト 08.07	町村合併促進法 10.01										
S29	1954	福岡県警発足・・・昭和23年から国家警察と並んであった自治体警察も財政難と機動力の不足から廃止された。国警、自警の区別が消え、新しく警察庁、都道府県警察が発足し、ここに福岡県警察本部が誕生した。※	新しく5市誕生、町村合併促進法が施行されて以来、合併の機運は各地で熟し、山田、甘木、八女、筑後、大川の5つの新しい市を生み出した。04.01 ※	関門トンネル貫通式	九州朝日放送(KBC)ラジオ開局								鳩山一郎	

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)

西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
S30	1955	第42代知事に 土屋香鹿氏 04.23 ※	大川橋が開 通※	県の福祉事 務所、農林 事務所を設 置 これまで の地方事務所 にかわって… 農村の生活改 善や県民の福 祉の増進のた めの新しい機 構として発足し								土屋香鹿		
S31	1956	ノリ人工採苗 作業場できる (有明水産試 験場)10.01※	久留米市に 石橋文化セ ンター 04.26 ※	NHK福岡テ レビ開局 九州で初め てのNHKテ レビ(総合) が福岡市で 放送開始さ れた。04.01									石橋湛山	
S32	1957	地方自治制、 10年目を迎え る 12.03 ※	重要無形文 化財に指定 された”久留 米かすり” 03.30 ※	婦人相談員 できる 売春 防止法の施 行に基づい て、県下の 福祉事務 所、主要都 市に婦人相 談室が配置 され、婦人 の更正指導 や生活相談 の相手と なって活躍									岸信介	

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)

西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
S33	1958	牛乳の学校給食はじまる 01.00 ※	関門トンネル開通 03.09 ※	県の”産業貿易館”ができる 10.30 ※	干ばつ対策に人工雨作戦 07.00 ※	ヤマをあとに南米へ 08.00 ※								
S34	1959	第43代知事に鶴崎氏投票 04.23 ※	”黒い羽根運動”全国に広がる 石炭産業の不振のため多くの中小炭鉱が閉山、炭鉱離職者は急激に増えた。「炭鉱離職者を救おう」という提唱は…全国に広がった。	西日本物産、香港見本市開催 11.16 ※	田中聡子さん女子200メートル背泳に世界新 07.12 ※							鶴崎多一		
S35	1960	三池争議は、会社側のロックアウトと組合側の無期限ストという激しい労使の対立でクライマックスに達し、新労組の誕生など波乱をよんだが中労委のあっせんで終幕した。 01.00	日向神ダム完成 05.00 ※	豊州炭鉱で水没事故(田川郡川崎町、中元寺川) 09.20 ※	移動診療はじまる 県内16ヶ所にある無医地区の住民に対して、診療を行うための移動診療を開所 ※	石炭離職者問題、三井三池争議、生活保護率日本1位、石炭不況の風	”黒い羽根”運動の成果によって離職者の生活に愛の手	「農業の共同化」全国に先駆ける、機械化・経営の多角化に力を入れる	若戸大橋、北九州工業地帯の動脈 国道199号線の建設進む	県広報室が独立する。文化キャラバンが山間へきちで開催。		池田勇人	「さようなら 1960年＝県政1年の回顧＝」より	

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)

西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
S36	1961	輸出ひよこ100万羽を突破(沖縄向け)※	国鉄小郡—久留米が電化 06.00 ※	小児マヒに生ワクチン 06.00 ※	1,000万円のピラー号県が乳牛の品種改良をねらってアメリカから輸入した種牛 ※									
S37	1962	若戸大橋開通 09.26 ※	世界一の溶鉱炉完成・八幡製鉄戸畑製造所の第3高炉が完成 03.22 ※	石炭調査団の現地視察 06.07 ※	コレラ”水ぎわ”作戦 08.02 ※									
S38	1963	新しい博多駅できる 12.01 ※	北九州市発足 02.10 ※	死者458人を出した三井三池鉱山の爆発事故 11.09 ※	鶴崎知事再選 04.23 ※	集中豪雨で死者18人 07.01 ※								
S39	1964	オリンピック聖火、福岡入り 09.16 ※	県鳥に”うぐいす”決まる 07.01 ※	西日本一の文化会館 11.03 ※	種苗育成センターできる(豊前水産試験場) 10.26 ※								佐藤榮作	
S40	1965	志賀島に国民休暇村 07.15 ※	宇宙カップル来福(ソ連宇宙飛行士) 11.01 ※	のりの生産が全国一に 03.00 ※	重松選手ポستنマラソンで優勝 04.19 ※	三池工校甲子園で優勝 04.19 ※	県営プール公開 06.12 ※	山野鉱のガス爆発で死者237人(嘉穂郡稲築町) 06.01 ※						

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
S41	1966	新金辺(しんきべ)トンネル貫通(小倉区と香春町をつなぐ) 04.21※	県章きまるよ 梅の花もよう 05.10※	県の木に”ツツジ”がきまる 09.05※	油須原線が開通(漆生一上山田一豊前川崎、筑豊炭田の石炭を苅田に運ぶ最短距離) 03.10※	力丸ダム完成(鞍手郡若宮町) 04.13※	”中国展”開く 西日本で初めての国際見本市中国経済貿易展覧会が、日中友好の夢を託して北九州市小倉北区で開か	沖縄に福岡県出身者戦没者慰霊塔 12.10※						
S42	1967	亀井光、県知事選挙で当選 04.24※	九州縦貫自動車道の建設始まる 06.19※	筑後地区に大ひょう、農作物などの被害 05.00※	70数年ぶりの大干ばつで県下全域に被害 05.00※	社会保育短大が開学 04.01※	交通事故相談始まる 07.01※	福岡北九州大都市圏会議が発足 06.02※	筑後川水資源調整のため、亀井知事が佐賀、熊本、大分3県知事を訪問 09.06※	職員団体のための職員の行為の制限に関する条例(ながら条例)を制定 10.21※	地方自治法施行20周年記念式典開く 12.21※	亀井光		1967-1970までの事項は、「ふくおか 特集号 県政のあゆみ」(1970.12)の記事から選定した。
S43	1968	県庁機構改革により、衛生部に公害課、商工水産部に消費生活課、総務部に厚生課、民生部に同和対策室の3課1室を設置。 09.24	大気汚染防止法、騒音規制法の公害2法がスタート 12.01	商品テスト室が県婦人会館内に店開き(福岡市) 12.20	県失対事業の機構改革で7つの失対事務所を設置 02.22	県庁舎管理規則を全面改訂、施行 09.02	高等学校々長着任紛争、知事あつせんで解決 08.30	国鉄篠栗線が開通し、博多～飯塚間を45分に短縮 05.25	中高年齢の再就職をあつせんする九州ではじめての福岡人材銀行が店開き(福岡市) 08.01					

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)  
 西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
S44	1969	筑後川総合開発マスタープランきまる 06.13	九州の空の玄関福岡空港ターミナルビルが完成 04.14 板付基地主力米軍機の本国引き揚げきまる 05.10 予備基地と	古河下山田鉱でガス爆発14人死亡(山田市) 09.22	全国5番目の国立視力障害者センターが完成(福岡市)	公害防止条例の答申出る 10.27	西日本一帯をおそったのりの白くされが、有明海ののり養殖に大打撃を与える 01.21	有明海に大和干拓が完成 10.03	山陽新幹線博多乗り入れが決まる 11.18					
S45	1970	福岡県米生産調整対策本部設置02.02	新しい県公害防止条例施行07.01 県公害対策本部発足 09.01	日航よど号乗っ取り事件起こる(福岡空港) 03.31	ヨットで太平洋を走破した福岡市の牛島青年元気に帰福 06.21	米第5空軍、山田弾薬庫の機能を10.15で停止すると発表 09.04	文化庁、大宰府遺跡買い上げきめる 07.10	県婦人会館内に消費生活センター店開き03.20 消費生活相談員400人が誕生 06.30	台風9号、筑後地方に大被害(激甚災害法適用きまる) 08.14					
S46	1971	第2期亀井県政誕生	置県100年を迎える	福岡市の政令都市昇格決まる	県の予算2,000億円の大台にのる	県民生活の向上をめざす環境整備局がスタート	老人医療費無料化の実施	県青年の船マニラ・沖縄へ	福岡・北九州高速道路公社発足	九州縦貫二日市地区紛争8年ぶりに知事あつせんで解決				
S47	1972	福岡県長期ビジョン策定 04.01	福岡市政令指定都市となる04.01	春日、大野城、筑紫野、小郡市発足 04.01	江川ダム完成 08.24	県環境保全条例を制定 10.18	国立がんセンター完成 03.15						田中角榮	

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
S48	1973	太宰府市に九州歴史資料館オープン 02.24	福岡歯科大学が開校 04.01	大川市に新田大橋開通 04.25	県衛生公害センター開設(太宰府町)	石油ショック起こる 10.00	関門橋開通 11.04	県緊急物価対策本部設置 12.05						
S49	1974	49全国高校総合体育大会開催	乳幼児、重度心身障害者(児)医療費無料化制度がスタート	消費生活局が発足 01.21	県立少年自然の家”玄海の家”オープン	第1回福岡県農業まつりを開催	大牟田港、大牟田川のヘドロしゅんせつ始まる	野鳥の森を建設(英彦山、大濠公園)	大牟田ハイツがオープン	産業医科大学の設置決定	日産自動車九州工場が起工		三木武夫	
S50	1975	県の人口430万人に迫る	第3期亀井県政スタート	山陽新幹線(東京-博多)が開通	御笠川・那珂川流域下水道一部通水	国営筑後川下流地区土地改良事業始まる	きれいになった大牟田川・港	新犬鳴トンネルしゅん工	福岡流通センターしゅん工	県立県南婦人センター開館	陣屋ダム完成			
S51	1976	県立四王寺県民の森オープン	第2次北部九州水資源開発構想3年ぶりにまとまる	県立で95番目の新宮高校が開校	福岡空港周辺整備機構スタート	35万戸めざした第2期住宅建設5ヶ年計画100パーセント達成	国鉄東福岡駅の設置決まる	1人当たり県民所得2年連続(49・50年度)国民所得を上回る	台風17号県下に170億円の被害(9.12・13)	財政危機の産炭地域市町村に交付税の特別措置49億円	県職員の勧奨退職者2,000人を超える		福田赳夫	

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
S52	1977	県庁舎移転決まる	県第2期中期計画まとまる	青少年の健全育成に条例整備	「消費生活の安定及び向上に関する条例」の施行	日産自動車九州工場製造のトラック初輸出	不況対策として公共事業の早期発注	西日本漁業4県友好訪中・訪韓	1人当たり県民所得、3年連続(49・50・51年度)1人当たり国民所得を上回る	瑞梅寺ダムしゅん工	県の推定人口440万人を超える			
S53	1978	新県庁舎の建設に着工	みぞうの異常湧水に見舞われる	公共事業等施行推進本部を設置	県議会100年を祝う	順調に伸びる県政(52年度県民所得速報)	産業医科大学が開校	寺内ダムが完成	救急医療体制の整備すすむ	県立北筑・春日高校繰上げ開校	栽培漁業センター試運転開始		大平正芳	
S54	1979	皇太子ご夫妻筑紫路へ	第4期亀井県政スタート	県の人口450万人を突破	集中豪雨により県下各地に大被害	すすむ水資源対策	県議会で暴走族追放を決議	充実する教育環境(県立高校、養護学校)	全国初の県中高年齢者雇用促進協会が発足	婦人行政の充実をめざし婦人対策室を設置	赤ちゃん110番の開設			
S55	1980	冷夏、長雨で大きな被害	産炭地域の振興すすむ	すすむ救急医療体制の整備	婦人の地位向上をめざす	障害者の福祉の向上	県立3校が開校	山笠ハワイを走り物産展も好評を博す	建設すすむ新県庁舎	洋上石油備蓄基地の建設をめざして	都心部に生まれた新動脈(福岡都市高速道路と北九州高速道路一部開通)		伊東正義 鈴木善幸	

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
S56	1981	水と緑の中の新県庁舎が完成	ハワイ州と姉妹県州を締結	心の豊かさを目指す第3期中期計画を策定	県立高校5校の新設決まる	産炭地域発展計画の決定	65年国体開催が決定	新北九州空港の建設が決まる	近代的設備を誇る農業総合試験場が完成	白島洋上備蓄基地の建設始まる	古賀町に身体障害者リハビリテーションセンターが開業			
S57	1982	日中友好10周年を記念し、各界代表の「友好の翼」が訪中	コミュニティーによる地域福祉充のための地域福祉振興基金が発足	災害情報の収集・伝達のための防災行政無線が開局	北九州市に県立勤労青少年センター完成など、県内の労働福祉施設日本一に	筑豊地域救命救急センター完成で、県内4ブロック救急医療体制が整う	八女郡黒木町で大規模年金保養基地の建設に着手	久留米・鳥栖地区がテクノポリス開発構想策定地に指定される	日産の乗用車生産など高付加価値産業伸びる	ハワイ州高校野球チーム来県など、国際交流広がる	赤字ローカル線対策協議会開催される		中曽根康弘	
S58	1983	奥田八二知事が誕生	皇太子ご夫妻、福岡県をご訪問	県立高校4校(中間、須恵、柏陵、玄洋)が開校	婦人一日庁議やふるさと対話など、対話の県政がスタート	旧県庁舎の解体現場から70年前のタイムカプセルを発掘	情報公開制度の条例化を目指し、準備作業が本格化	母子医療公費負担制度が発足	県内の交通事故死者が激増、知事、警戒宣言を発す	21世紀を目指した長期展望の策定に着手	県立図書館が文化会館から分離独立して開館	奥田八二		
S59	1984	三井・三池有明鉱で惨事	奥田知事「県民総立ち運動」を提唱	中国領事館の県内設置決まる	行政改革審議会が発足	久留米・鳥栖テクノポリスが国の地域指定	筑後大ぜきが完成	白島石油備蓄基地が着工	県の三役体制が確立	21世紀へ向けて新長期計画作りに着手	先端技術産業が立地 宮田町に(株)東芝、甘木に(株)ローム			

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
S60	1985	行政改革大綱決まる	中国総領事館が福岡市に開設される	情報公開制度の大綱決まる	昭和65年度の第45回国体を福岡県で開くことに内定	21世紀を展望した新長期計画(61年~75年度)の基本方針まとまる	北九州病院グループの不正が発覚	県の人口、470万人を突破(国勢調査)	文化施設の充実すむ 県立美術館改装オープン、甘木歴史資料館	八木山バイパス(篠栗町~穂波町)が開通	ハワイ官約移民100年記念祝賀訪問団がハワイ州を訪問			
S61	1986	「福岡県21世紀へのプラン」策定	情報公開制度がスタート	不正事件に対し防止対策を強化	本格的な行政改革がスタート	飯塚市に九州工業大学情報工学部を開設	近藤副知事が辞任	第3セクター甘木鉄道が開業	グリーンピア八女がオープン	県予算総額1兆円を越す	大濠公園能楽堂落成および公園池浄化対策進む			
S62	1987	県知事に奥田八二氏再選	「とびうめ国体」正式決定	「県21世紀へのプラン」第1次実施計画発表	日中定期航空路(福岡~上海・北京間)開設	県民あげて暴力追放に乗り出す	飯塚市に九工大情報工学部キャンパス開校	1年3ヶ月ぶりに県3役勢ぞろい	道路網の整備進む 九州横断自動車道(鳥栖~朝倉間)、冷水道路、福岡都市高速天神ランプ	国立博物館の誘致活動が本格化	地方自治法施行40周年を迎える		竹下登	
S63	1988	一般会計当初予算1兆円を突破	10年ぶりに福岡にプロ野球球団	大濠公園、60年ぶりに化粧直し	とびうめ国体の会期決定	官民一体で九州国立博物館の誘致	鴻ろ館遺跡の発掘すすむ	大牟田高校(高校駅伝)、福岡第一高校(夏の甲子園)全国大会で大活躍	福岡ーシンガポール間、定期航路開設	動き出した大プロジェクト スペースワールドの運営会社設立 玄海レクリゾート構想の基礎調	高速道路網の整備進む			

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
H01	1989	アジア太平洋博覧会'89福岡、盛況のうちに閉幕	昭和天皇崩御、元号が昭和から平成へ	旧県庁跡地に国際会館県議会特別委員会で利用計画を正式決定	玄海レク・リゾート国の承認	水と緑のオアシス大濠公園、リフレッシュ	国際交流の拠点に一県国際交流センター開所	全国植樹祭、福岡県開催決定	いきいき福岡をアピール・大福岡展	県庁土曜閉庁始まる	平成筑豊鉄道発車		宇野宗佑 海部俊樹	
H02	1990	とびうめ国体(第45回国民体育大会)・ときめきのとびうめ大会(第26回全国身体障害者スポーツ大会)の開催	相次ぐ自動車産業の立地(日産・荏田町、トヨタ・宮田町)	集中豪雨、福岡を襲う	宇宙に夢を乗せて、スペースワールド発進	お帰りなさい栗浦機関長	テーマは地球、県青少年科学館オープン	北部九州研究学園都市建設構想まとまる	九州横断自動車道開通(朝倉・日田間)	開設ラッシュ国際航路・航空路(日韓航路、日韓航空路、インドネシア航空路)	県国際会館は庭園ビルに			
H03	1991	台風17号・19号県内各地に大きな爪跡	奥田知事3選	トヨタ自動車九州の工場建設始まる	福岡県21世紀へのプラン第2次実施計画まとまる	全国高校駅伝競走大会で大牟田・筑紫女学園アベック優勝	福岡空港国際線、開設ラッシュ	北九州空港定期便再開・新北九州空港早期実現に弾み	福岡県立大学、平成4年春に開校	産炭地域臨時措置法10年延長される	東九州自動車道、基本計画路線へ		宮澤喜一	
H04	1992	第43回全国植樹祭開催	中国江蘇省と友好提携	西日本短期大付属高校、夏の甲子園大会で優勝	国立博物館、太宰府設置にはずみ	ますます活発化する県内の自動車産業	福岡県国際会館(仮称)着工	福岡県立大学開校	学校週休5日制始まる	個人情報保護制度スタート	新北九州空港、着工へ大きく前進			
H05	1993	異常気象により農作物に大きな被害	新北九州空港建設に関する漁業補償問題大きく前進	大型補正予算を組み、経済対策を実施	福岡県ごみ散乱防止条例制定及び施行	柔道の'93世界選手権で福岡旋風	「アクロス福岡」着々と建設進む	平塚川添遺跡、国史跡に指定へ	福岡県文化賞の創設	第4回全国「みどりの愛護」のつどい開催	ゆとりの里・あまぎ水の文化村オープン		細川護熙	

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
H06	1994	異常渇水により県民生活や農作物等に大打撃	新北九州空港いよいよ建設着工	相次ぐ発砲事件に暴力追放の県民意識高まる	本県初の水稲新品種「夢つくし」デビュー	福岡県総合福祉センター、助成総合センター、人権歴史資料館(いずれも仮称)が建設着工	高齢化社会に備えて(県高齢者保健福祉計画など策定)	財団法人アクロス福岡の設立(平成7年4月オープン)	着々と進む九州国立博物館誘致	第1回福岡県文化賞表彰式	平塚川添遺跡が国史跡に指定		羽田孜 村山富市	
H07	1995	麻生知事が誕生、新県政スタート	ユニバーシヤード福岡大会の開催	国際文化情報交流拠点「アクロス福岡」オープン	阪神淡路大震災へ県挙げて支援	平成6年から続いた異常渇水と長期的水資源対策への取り組み	新国立博物館「九州」に特定、太宰府設置に向け大きく前進	「福岡県部落差別事象の防止に関する条例」制定	「福岡県ウルグアイラウンド農業合意対策大綱」を策定	福岡ブルックスがリーグに昇格し、「福岡アビスパ」に改称	最大規模の経済対策実施	麻生渡		
H08	1996	旅費問題がおこり実態解明と改革に取り組む	九州国立博物館太宰府に決定	福祉女性人権の活動拠点「クローバープラザ」オープン	ワイズマンコミッティ、九州国際空港の位置として新宮津屋崎沖を答申	ガルーダ・インドネシア航空機炎上事故発生	産学官の共創による新技術・新産業創出事業を開始	病原性大腸菌O-157発生	第8回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア福岡'96」開催	「県民スポーツ栄誉賞」創設、第1回受賞者はヤワラちゃん	国連人間居住センターアジア太平洋事務所開設決定		橋本龍太郎	

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
H09	1997	三井三池炭鉱閉山、新たな大牟田地域の出发点	「ふくおか新世紀計画」策定～アジアの、福岡あたりが面白い	国連人間居住センター(ハビタット)福岡事務所開設	「アジア開発銀行(ADB)福岡総会」開催	JR九州篠栗線・筑豊本線電化事業着工	県庁改革・情報公開進む	新技術・新産業創出への取り組み進む	本県最初の単位制高校「博多青松高校」、総合学科高校「稲築志耕館高校」が開校	公共関与による福岡地区安定型産業廃棄物広域最終処分場「久山処分場」が開業	全戸配付の広報紙「福岡県だより」を創刊			
H10	1998	福岡県の人口500万人突破	福岡県で、初の女性副知事誕生	九州新幹線鹿児島ルート建設工事着工、広川IC・筑紫野ICの供用開始～県内の交通体系整備が進む	戦後最大の景気低迷が続く中、景気対策・雇用対策を実施	東福岡高校サッカー部、初の3冠達成	海水淡水化調査、北谷・猪野ダムの整備～水資源の確保が進む～	九州国立博物館(仮称)建設に向けて、スタート	福祉のまちづくり条例の施行	三池港公共埠頭の供用が開始される	マルチメディア・アライアンス福岡の発足		小淵恵三	
H11	1999	福岡ダイエーホークス日本一	2000年九州・沖縄サミット、蔵相会合は福岡で	麻生知事再選、2期目スタート	21世紀へ向けた財政基盤づくりー緊急財政改革を実施	福岡都市高速と太宰府インターチェンジ(IC)が直結	1800人の雇用創出を目指す緊急雇用対策の実施	6.29梅雨前線豪雨、9.24台風18号で大きな被害	全国最大規模の「福岡県介護保険連合」発足	福岡空港新国際線ターミナル、オープン	女性副知事サミット、盛大に開催			

福岡県の発表による  
**県政ニュース**

1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
H12	2000	九州・沖縄サミット福岡蔵相会合開催	シドニー・オリンピック、福岡県勢大活躍	福岡ダイエーホークス2年連続リーグ優勝	青少年アンビシャス運動スタート	高齢者を社会で支える、介護保険制度スタート	アジア・太平洋環境大臣会議in北九州	アジアの交流拠点へ、九州国立博物館(仮称)建築費本設計決ま	IT社会を築く「ふくおかギガビットハイウェイ構想」	博多ムービー「ちんちろまい」全国上映	九州整備新幹線博多～船小屋着工決まる		森喜朗	
H13	2001	篠栗線・筑豊線(福北ゆたか線)電化開業	ギガビットハイウェイ(高速大容量の光ファイバー通信網)運用開始	牛海綿状脳症(狂牛病)の牛発見、県でも全頭検査	有明海ノリ、今シーズンは豊作の見込み	県が第一次行政システム改革大綱骨子	青少年アンビシャス運動広がる	九州新幹線・鹿児島ルート博多-船小屋間が着工	県ねんりんスポーツ・文化祭が開催	新福岡空港基本構想骨子を発表	男女共同参画推進条例を制定		小泉純一郎	
H14	2002	今年四月の九州国立博物館(仮称)着工	大牟田リサイクル発電所稼動	福岡空港、国の調査決定	青少年アンビシャス運動の拡充	農産物の新ブランド「つくしるまん」「博多あまおう」誕生	県立高校再編計画で来春開校の六新設校の校名決定	男女共同参画の表彰制度創設	石炭六法失効後の激変緩和策決定	県職員採用試験の民間人採用枠に多数応募	有明海特措法成立			
H15	2003	福岡ダイエーホークス四年ぶり日本一	7.19豪雨により大きな被害を受ける。支援の輪が広がる。	第3期麻生県政スタート。九州地方知事会の会長に就任	県立病院改革計画の策定。5病院の民営化を決定。	日本一奪還に向けて、イチゴ「あまおう」本格生産開始	無担保資金供給新システム「元気フクオカ資金」で中小企業を支援	保健、医療、福祉を一体化させた教育の実現を目指して、県立大に看護学部開設	「子育て応援宣言」企業、事業所登録制度を創設	海峡ドラマシップオープン	国内最大の文化の祭典「第19回国民文化祭・ふくおか2004」			

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
H16	2004	第十九回国民文化祭・ふくおか2004(とびうめ国文祭)	「北部九州自動車百万台生産拠点構想」大きく前進	台風相次ぎ来襲。深いつめ跡	”百年の夢”九州国立博物館がしゅん工	九州新幹線鹿児島ルートの開業	「真の地方分権はこれから…」課題残る三位一体改革	県立病院の民間移譲先決定。行財政改革進む	筑豊のシンボル、嘉穂劇場の復興	「日本の次世代リーダー養成塾」開塾	新生ホークス誕生			
H17	2005	福岡西方沖地震発生。復興への取り組み進む	九州国立博物館”百年の夢”ついに実現	ねんりんピックふくおか2005開催。はつらつ高齢社会の実現へ	北部九州自動車100万台生産目標突破確実	九州大学伊都キャンパス開校。自然豊かな「知の空間」を目指して。	県立3病院を民営化。行財政改革進む。	産業廃棄物税を九州各県で一斉導入。循環型社会の実現へ	アスベスト・構造計算偽造問題。安全・安心への信頼揺らぐ	麻生全国知事会長の先頭に立って「三位一体の改革」を実現へ	県産農産物のアジア輸出を強化。まる福マークで守りから攻めへ			
H18	2006	新北九州空港が開港 新しい発展基盤整う	北部九州自動車生産100万台達成！次は150万台	九州国立博物館が大盛況！入館者250万人を超える	子育て応援企業が500社突破！子育て応援の店もサービス開始	第2期青少年アンビシャス運動がスタート、参加団体2,000を目指す	バンコク都、デリー準州と友好提携へ アジアとの地域間交流進む	荒廃した森林の再生を目指す「森林環境税」を創設	「北部福岡緊急連絡管」着工へ	東九州自動車道全線開通にめど 早期完成に向けた支援体制を整備	県産ノリ統一ブランド「福岡のり」誕生		安倍晋三	
H19	2007	「子育て応援宣言企業」1200社、「子育て応援の店」4000店突破	天皇皇后陛下15年ぶりの行幸啓	北部九州自動車生産150万台体制へ	九州国立博物館入館者400万人へ	荒廃森林の再生事業スタート	「教育力向上福岡県民会議」設置	安全・安心のまちづくり条例制定	史上最大規模の県庁再編成	10年ぶり光化学オキシダント注意報発令	麻生知事再選		福田康夫	

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
H20	2008	「福岡県緊急雇用対策本部」を設置—世界的な金融市場の混乱、本県経済にも影響—	九州国立博物館で日中韓首脳会議開催—アジアの玄関口福岡を世界にアピール—	世界最先端の「福岡水素戦略」始動—水素タウン社会実証始まる—	全国が注目福岡県の「子育て応援社会づくり」—出生数3年連続増加中—	教育力向上福岡県民運動スタート—「福岡の教育ビジョン」を実現へ—	食の安全強化—「食の安全総合調整監」奮闘—	若者文化ウェブサイト「アジアナビート」国際商標登録へ—世界103カ国からアクセス—	「福岡農産物通商株式会社」設立—福岡の農産物を世界へ—	「宗像・沖ノ島と関連遺産群」「九州・山口の近代化産業遺産群」、世界遺産暫定リスト入り	変身、天神中央公園を「ふくおか交流お祭りひろば」へ—都市と農山漁村との交流、文化、物産の拠点に—		麻生太郎	
H21	2009	景気雇用・中小企業緊急対策に総力を結集—世界不況突破へ成長戦略「福岡ニューディール」を展開—	中国・九州北部豪雨災害—観測史上最大級の豪雨、各地に深い爪あと—	全国初! 暴力団排除条例制定—資金源を絶つ利益供与の禁止など全国に例のない条例—	福岡空港滑走路増設、北九州空港滑走路延伸—2空港の総合的な連携によるアジアに開かれた航空ネットワークを目指す—	福岡・北九州間で「水素ハイウェイ」始動—水素タウンに続く「福岡水素戦略」の社会実証—	障害者がつくる福岡県産芋焼酎「自立」完成、2カ月で完売! —「まごころ製品」で工賃アップを—	新型インフルエンザ対策に全カ—24時間態勢で県民の健康・生活を守る—	県産ブランド続々誕生—ラー麦、元氣つくし新登場。夢つくし、あまおう、とよみつひめ、福岡のり、雪姫に続け—	ベトナムの総領事館開設—中国副主席福岡訪問—アジアの交流拠点化、着実に進む—	第1回福岡アジアコレクション盛況—福岡のファッション、ブランド力を内外に発信—		鳩山由紀夫	中島副知事、市町村会接待疑惑辞職
H22	2010	「福岡・アジア国際戦略特区」「70歳現役特区」構想を推進—全国に先駆けて二大特区を提唱—	九州新幹線全線開通3月12日に決定、ダイヤ発表	全国初の暴力団排除条例を施行—暴力団への利益供与を絶つ—	ハノイとの環境協定を締結—県バンコク事務所を開設	「子育て応援の店」1万店突破、「子育て応援宣言企業」3千社目前	九州で唯一の国際貨物定期便、揚子江快運航空が「北九州空港」に就航	NPO・ボランティアと企業、行政の交流の場「ふくおか協働ひろば」発足	福岡県町村会事件を受け、副知事倫理条例制定・再発防止策を実行	新しい九州歴史資料館が小郡市に開館	麻生知事、知事選不出馬を表明		菅直人	麻生5選不出馬表明(10.05西日本10.08県議会)

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
H23	2011	東日本大震災 県民あげて被災地を支援 県地域防災計画の見直し進む	小川県政スタート「元気を西から」 「県民幸福度日本一」	グリーンアジア国際戦略総合特区を国が指定	九州新幹線 鹿児島ルート全線開通	ホークスの8年ぶり日本一、元大関魁皇関の通算最多勝記録、琴奨菊関の大関昇進	「エネルギー政策室」を設置 省エネ・節電県民運動を実施	暴力団排除と飲酒運転撲滅を強力に推進	「70歳現役社会づくり」～官民一体で推進協議会設立 70歳現役応援センター準備室設置～	山本作兵衛の炭坑記録画が世界記憶遺産に	「あまおう」「とよみつひめ」福岡ブランドを東京で8年ぶりにトップセールス	小川 洋	野田佳彦	
H24	2012	梅雨前線豪雨災害 復旧・復興に全力	「県民幸福度日本一」を目指し、2つの基本指針策定～「福岡県総合計画」・「福岡県行政改革大綱」～	ロンドンオリンピック・パラリンピックで福岡県勢大活躍	暴力団排除と飲酒運転撲滅に向けて～防犯カメラ整備、飲酒運転者のアルコール依存症受診義務化など～	「グリーンアジア国際戦略総合特区」が本格始動～指定区域拡大、生産能力増強～	東日本大震災を踏まえ、県地域防災計画を抜本見直し積極的な被災地支援を継続	国内外から注目 「70歳現役社会づくり」～福岡県70歳現役応援センターを核に大きく前進～	再生可能エネルギー導入が進む 節電、県民一丸となって計画停電を回避	「元気つくし」が日本一に躍進する 県産農林水産物	九州国立博物館入館者1,000万人突破		安倍晋三	
H25	2013	「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」が世界文化遺産へ推薦決定	海外福岡県人会世界大会を12年ぶりに母県で開催	「グリーンアジア国際戦略総合特区」が着実に進展	福岡空港から初のヨーロッパ直行便が就航、来春の増便も決定	観光列車「ななつ星」が運行開始	芸術文化交流施設「九州芸文館」がオープン	「グランプリファイナル福岡2013」開催	「見守りネットふくおか」と「70歳現役社会づくり」の“輪”広が	高品質な福岡ブランドを国内外へ！躍進する 県産農林水産物	産業廃棄物問題～法的措置を駆使、体制も強化～			

福岡県の発表による  
**県政ニュース**

1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料: 県の広報(「グラフふくおか」、ホームページなど)による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」(1981、福岡県発行)西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例: 各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
H26	2014	『グリーンアジア国際戦略総合特区』の設備投資1千億円突破	東九州自動車道が延伸、福岡・北九州両空港の利便性向上に向け一歩前進	『軍師官兵衛』『花子とアン』の放送、『ミシュランガイド福岡・佐賀版』発行	県産農産物が高い評価、輸出額も過去最高	暴力団壊滅、飲酒運転撲滅、危険ドラッグ撲滅に向けて前進	「子育て応援宣言企業」が5千社突破、「70歳現役社会」が進展	障害者施設で働く障害者の収入が10億円突破、1人当たりの平均収入月額も過去最高	ホークス3年ぶりの日本一、市町村対抗「福岡駅伝」を初めて開催	FCV販売開始！水素・燃料電池次の局面に	特別展「台湾 故宮博物院—神品至宝—」開催			
H27	2015	「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録と「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の推薦候補決定	タクシーをはじめとするFCV(燃料電池自動車)の導入、水素ステーションの整備を促進	「ラグビーワールドカップ2019」の開催都市に決定	有効求人倍率が過去最高、中小企業振興条例を制定	小川洋知事が再選	福岡ソフトバンクホークス2年連続日本一、アビスパ福岡J1昇格	工藤會総裁の逮捕、「ニセ電話気づかせ隊」を発足	甘柿新品種「秋王」の販売開始	「福岡県人口ビジョン・地方創生総合戦略」の策定	平成29年度「第37回全国豊かな海づくり大会」の福岡県での初開催決定			
H28	2016	「平成28年熊本地震」への支援広がる～「九州ふっこう割」を九州各県が連携して実施、九州を元気に～	東九州自動車道(北九州市～宮崎市間)が全線開通	大隅良典栄誉教授が本県初のノーベル賞受賞、リオオリンピック・パラリンピックの坂井聖人・道下美里両選手が銀メダルを獲得	インバウンドが過去最高、大規模国際会議の開催、「博多祇園山笠」「戸畑祇園大山笠」のユネスコ無形文化遺産登録	有効求人倍率、障害者雇用率が過去最高～	ブランド化でさらに躍進する県産農林水産物	水素エネルギー社会の実現、再エネ導入拡大に弾み	子ども医療費の拡充、「福岡県子どもの貧困対策推進計画」の策定、「子ども支援オフィス」の開設	「女性活躍推進室」の設置、全国初「ウーマンワークカフェ北九州」の開所、「子育て応援宣言企業」600社突破	犯罪の取締り、暴力団員の社会復帰対策など、成果を積み重ね			

福岡県の発表による  
**県政ニュース**  
 1945-2017

編集Y.Miyazaki

資料：県の広報（「グラフふくおか」、ホームページなど）による。

ただし、記載なき年次は「福岡県の歴史」（1981、福岡県発行）  
 西日本新聞に見る戦後50年—1945-1994 等で補足した。

1974年から「県政十大ニュース」として発表されている。

凡例：各項目の数値は年月または月日

年次	西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	知事	首相	備考
H29	2017	「平成29年7月九州北部豪雨」災害の発生～被災地の応急対応と復旧に全力で取り組む～	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産に登録	天皇皇后両陛下のご臨席のもと「全国豊かな海づくり大会」を開催	東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地が続々決定	有効求人倍率、新卒者の就職内定率が過去最高を記録	「福岡県障がい者理由とする差別の解消の推進に関する条例」を制定	職員の不祥事が相次いで発生	外国人観光客数が過去最高を更新	「福岡県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を制定	小石原焼・福島善三氏が人間国宝に認定			